

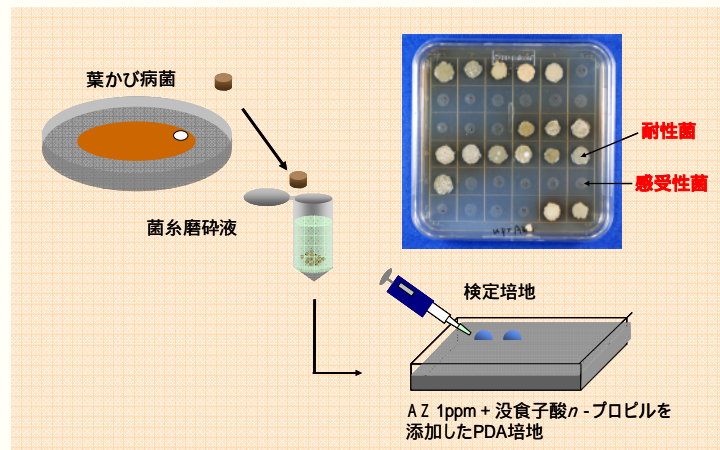
# トマト葉かび病におけるアゾキシストロピン耐性菌の発生実態と防除対策

近年、岐阜県内のトマト産地では葉かび病の防除に苦慮しており、その要因の一つとして化学薬剤に対する感受性の低下が懸念されています。特に治療剤として使用されることの多いアゾキシストロピン水和剤について耐性菌発生の可能性が考えられたため、室内検定法を確立して県内の耐性菌発生の実態を明らかにするとともに、有効な防除対策について検討しました。

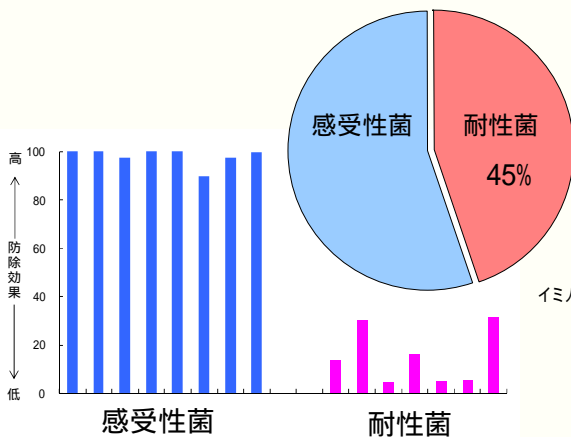
(平成20～22年度病害虫総合管理技術推進対策事業)



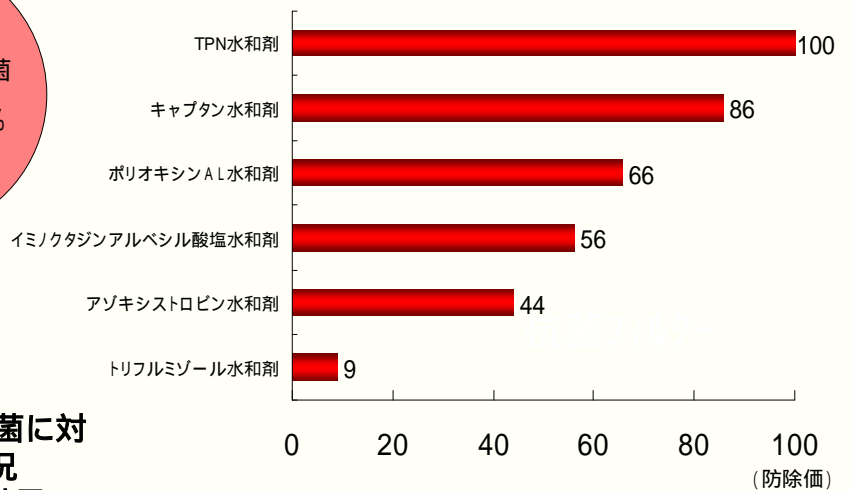
トマト葉かび病の多発生ほ場



菌系磨砕液を用いたアゾキシストロピン耐性菌検定法



アゾキシストロピン水和剤の同剤耐性菌に対する防除効果と県内の耐性菌発生状況 (H19,20年に分離した271菌株の調査結果)



葉かび病に対する各種薬剤の防除効果 (防除価)

## (研究成果)

- ・ 葉かび病菌のアゾキシストロピン耐性菌の室内検定法を開発しました。
- ・ 岐阜県内のトマト産地では、アゾキシストロピン耐性菌が広く蔓延しており、これらに対してアゾキシストロピン水和剤の防除効果は大きく低下することを明らかにしました。
- ・ TPN水和剤やキャプタン水和剤を予防的に散布すると、葉かび病に対して高い防除効果が得られることが分かりました。